"男の協力が足りぬ"

新役員を囲んで座談会

三十二年度の新しい役員も選出して主婦会も新年度への新しいスタートを切りました。編集部では十六日、本部役員の方たちにお願いして、今年一年の抱負をはじめとするその他のことについて、ザツクバランに座談会を開かしてもらいました。【出席者】河野広子（会長）野田ヤエ（副）藤枝文子（副）南光子（副）山下ちか（会計）吉崎栄子（監査）永江美由紀（総務）高木千恵子（文教）平山律子（福祉）　―司会　小山教宣部員―

私の抱負は

司会　今年一年主婦会の本部役員として仕事をやられるわけですが、まずどういう抱負をお持ちですか。

A　私は会長という重責をおおせつかったのですが、自分の思つているのをどのくらい実現して行くか疑問に思います。矢張り組織の先頭に立つて内部では学習活動、つづり方運動などで団結をかため、対外的には社会的な地位の向上にも努力して行きたいと思つています。

B　昨年までは役員も結成当時からの人が殆んどでしたが、今年は結成ずつと後から入つた人が多く、この人たちが半数ほどあります。過去、この両者にいくらかの感情のへだたりもあつていますし、まず役員の融和を心がけたいと思います。

C　今年こそはと思つています。といいますのは要領を本分とすべし式が出てくると思われますそれは主婦会も五年目で、結成当時の熱巻をしめていた目の前に闘う目的があつたときとちがつて、目的が大きくなり目前の目的がなくなつたので、要領よくやつたものが得というわけで

D　はじめて本部に出てきましたが、主婦会の強さをつくづく感じました。この世界で個人の完成というものを通じてしつかりと勉強して行きたいと思います

喜びの焦点は企闘

司会　では、つぎにこの五年間に一番うれしかつたことを覚えていて心に残つていることを……

D　昨年分会長のとき三川で主婦会の運動会をやりました。そのとき一人怪我人が出て一円カンパをやつたときのことでした。

E　代議員大会の帰りに、はじめて班長になつて出席した人たちが「私たちの組織がこんなに大きくなつているのに感激した」と話し合つているのを聞いたときです。

F　結成当時私たちの社宅は加入が困難で何人か加入されなく、その人たちが気まずい思いをして生活していたが、現在ではみんなが協力して社宅が和やかにいつていることです。

G　企業整備の闘いのときのことです。勝つか負けるかわからず夜も眠られなかつたが、夜明けに撤回著の一人が門をたたき撤回されたと報告されたが、そのとき木炭をおこしながら嬉しなきに泣いていました。この喜びは一生忘れられません。

一同　みんなの気持はやつぱり企闘のときの喜びだろうと思います。

H　前回選挙のとき私たちの代表みんなが当選されましたが、非常に感激にたえませんでした、あのことは忘れきれません。

G　主婦会結成当初は お互いに家庭の内幕をかくし合つて、家庭が苦しいが裕福を顔をしてみたり、自分の子供だけヒゴしてみたりしていたが、企闘以後はザツクバランに話し合い腹のサグリ合いなど全然なくなつたのが一番うれしいことです。

ご主人が苦情

司会　では、こんどはこれと全然逆のこともあつたと思いますが

E　結成のとき加入者が少く、私の所は私ともう一人でした。子供は幼稚園入園前でしたが、毎日デモなどに出かけ遅くなつて帰るが子供はいつも留守をしていた。棺桶デモのときは雨でビショビショになつて帰つたが子供は外に立つて待つていましたそのとき隣近所の人たちは全然かまつてくれませんでしたが、私はそのとき馬鹿だろうかと思つて泣きました。

D　こんどの改選で班長さんをきめたときに、ご主人が「何故やらんなんとか」と苦情をいわれましたが、もつと考えてもらいたかつた。

オナゴの外出

司会　最後に自分の主人も含めて組合や組合員にたいする要望はありませんか。

A　まだ主婦会を理解していない人がいます。オナゴどんが外さんばかり出て行くどんこんしよんなかといつたり、また役員になつた所のご主人がはじめは協力してやりますが、一年のうち何回かは家庭争議がある。

B　組合は十一年になつてまだそういうことを言う人がおられる主婦会はまだ五年になつたばかりですから、もつと協力や援助していただきたいと思います。

C　進んだ人はすごく進んでいるし、あれでも組合員ですかというようなひどいことを言う人もいますよ。

E　うちでは主人がコンロまで買つて協力し理解していますので感謝しています。

F　主婦会で表彰しなければなりませんね……（笑）

G　とにかく男の人がもつと暖かい目でみてくれ、大きな理解がないとどうしても主婦会の発展は困難だと思います。その点でもう少し反省してもらいたいところもあります。

この他まだまだ意見百出、有益な座談が行われましたが、紙面の都合で割愛しました。

落書の成果を発表

投書も次第に建設的に

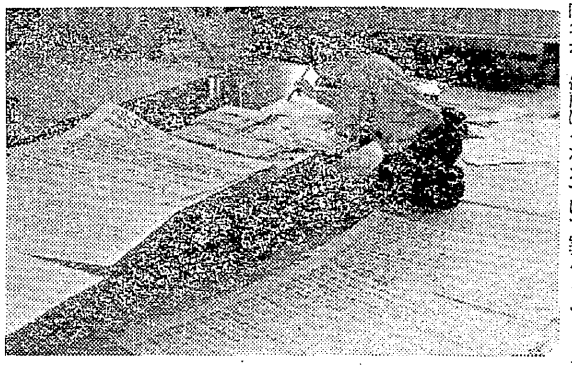
昨年から便所にそなえつけて実施している三川支部の「らくがき」は、そのご日を経るごとに一日の投書数はうなぎのぼりに増え、担当部では解決事項は鋭意解決と努力を行つているありさまで、よらやく「らくがき」運動が職場の隅々え浸透してきている。

教宣部では年度変りをひかえて、いままでに集つた「らくがき」のしめくくりをつけるためにその成果を発表することになつたが、用紙二十一枚というぼう大な量になり、汗だくで仕事を行つている。

なお、いままでに二回の中間発表を行つており、今回で三回目となるわけだが、第一回の総計七六通第二回が一二三通、第三回の今回は二一二と倍率で投書はぐんぐんと増えており、この数字からみても、いかに組合員の関心を高めているかがうかがわれ、期待されている。

また、当初みられるような悪質と思われる誹謗やあげ足とり、故意に替いたと思われる悪戯などがいまではほとんどかげをひそめ、一つ一つが建設的なものえと変つてきていることは大きな成果だろうと思われる。

（写真は汗だくで作業する教宣部員）



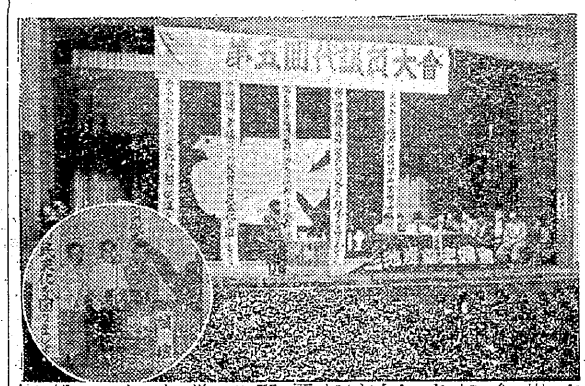
自信と誇りに輝く

主婦会代議員会終る

三鉱主婦会の代議員会も第五回目を迎え、去る五月十二日（日）市民会館で午前十時から開催された。開会前、すでに会場には主婦たちの晴れやかな顔が一杯に埋まつたまず、議長団に高田（本）永江（万）井上（巻）の三氏を選出して議事がすすめられた。

西山会長より結成当時から現在までの経過、三山主婦会の結成について、大牟田の総合婦人協議会発足について挨拶があり、友誼団体や民主団体からのメツセージが行われた。

「子供たちの幸福のため教育の民主化を図りましよう」など五つのスローガンを採択していよいよ議事に入つた。



規約改正では執行部原案通り可決されたが、宮浦より提出されていた書記労組合員の主婦を特別会員にしたいという案をめぐり、活発な論議が交されたが、採決の結果いままで通り一般会員に決定した、このあと福川文教部長より今年度行動方針が説明され承認、新役員を決定、労働歌合唱で午後一時十五分、大会は終了した。

（写真は市民会館での代議員会、内内は岩田慶女子組合員）

三戸輕く優勝

三鉱野球大会終る

三鉱野球大会は五月七日から三作と港務グラウンドで開始されていたが、勝進んだ宮浦、港務、三川に加えるに、敗者復活戦で進出してきた本所チームを交えた四チームで対戦、晴れの優勝を決定する最終試合が十五日三作グラウンドで行われた。

優勝戦は三川と本所の間で行われたが、緒戦に一点を入れた本所の試合ぶりで、三川も緊張した試合運びとなり、五回に三川大量六点を一挙に奪い、つづく回で一点、八回に駄目押しの二点を入れ、結局九A一で三川の圧勝となつた。

本所の不振の原因は打撃が振わず加えるに敗者復活戦など本所チームは三日間の連戦もあり、投手の球威に精彩が欠けたようでもありまた五回に大挙六点を奪われたときもワンヒツト、ワンエラーでやられるという一幕もあり、これは雨上り後のグラウンドが異常に引緊つて固まつていたためか、バウンドのタイミングがあわずに外野でエラーするなどが多くみられた

優勝三川　二位本所　三位宮浦　港務の各チーム

（写真は押しかけた応援者）

世界に訴える

大牟田原水協を結成

ながらく結成準備をおしすすめていた大牟田市原水爆禁止促進協議会の結成大会は十一日午後三時から約三百名が参加して労働会館で行われた。

この日、結成大会に集つたものは市民各層の殆どの代表者たちで市議会、大地評、商工会議所、学校PTA、婦人会、青年団、農漁協商店、文化連盟、芸能関係の人たちであつた。

結成大会は北原議会事務局長の司会で行われ、大会を祝する阿具根参議をはじめ、広島、長崎の原爆被災地、小倉、八幡などすでに原水協を結成している地域から、ぞくぞく祝電やメツセージが贈られ披露されたが、人間を死のふちに追いやる原水爆にたいする人々の怒りは拍手となつてこの祝電、メツセージに浴びせられた。

このあと、役員改選に入りつぎのように決定された。

会　長　境市議会議長・川口六平（大地評会長県議）

副会長　長谷津静枝（婦人会代表）

〃　〃

会計監事　木村三池高校長

〃　三浦漁業協組吉村組合長

なおこのあと夜は市民会館で原水爆禁止の集いが行われた。

国鉄の闘いを理解しましよう

国鉄労働組合の不当処分に反対して、十一、十二日、全国で一斉に職場大会が開催された日、私も親戚の祝儀で熊本へ行きました。

大牟田より十二時一〇分発に乗ろうと、二人の子供と参りましたが、改札口に駅長名で、ストライキにつき、汽車が延着し、確実に時刻の知らせが出来ないということをはり出してあつた。

二時までにはどうしても先方に着かねば困るので気がいらいらして何か腹だたしさを覚えたがよく考えてみると国鉄の人達の闘いもよくわかるが先ず自分のことを考えて困つたと思つていたところ、西駅から執行部の人や委員の人達が赤旗を先頭にワツショイ、ワツショイ、とやつて来られたとき、今まで私が考えていたことが恥かしくなり、そのデモ行進の力強さに涙が出て思わず拍手をしました。

それまで私と同じようにブツブツこぼしていた人達も、このデモ行進をみて、労働者の力強さにこれまでの不平も忘れてみんなが感心したように見ていられました。

国鉄の不当首切りは本当に私達労働者やその家族の闘いで、みんなが一緒に闘えば必ず首切りの撤回は出来るのではないかと思いました。

闘いの先頭に立つている者だけが、どんなに叫んだところで理解は出来ないと思いますやはり全部の労働者や家族が国鉄の闘いを理解し、お互い一人一人が国鉄闘争の情宣班だという考え方に立つて行くべきと思いました。一時間以上待たされた汽車の中で、私は思わず隣近所の人達に国鉄闘争の内容を知つているだけ話して行きました。

小浜　祥子